

目 次

巻頭図版 i

上：池上曾根遺跡の全景（1993年撮影）

下：南から見た大型建物と刳り貫き井戸（1995年撮影）

巻頭図版 ii

上：環濠と周辺の居住空間（1993年撮影）

下：方形土壇遺構の全景（2012年撮影）

はじめに

刊行に当たって

目 次

例 言

凡 例

〔本文目次〕

池上曾根遺跡の変遷と周辺集落の動向	乾 哲也	1
方形土壇遺構について（その1）	千葉 太朗	23
「土器埋設遺構」の展開と用途に関する一考察	上田 裕人	29
弥生時代前期の池上曾根遺跡とその周辺	奥野 美和	44
大型掘立柱建物の復元 - 井上論文に対して -	乾 哲也	49
池上曾根遺跡における環濠・流路復元研究の変遷について	塚本 浩司	65

例 言

1. 本書は和泉市史編さん委員会編集・発行の和泉市史紀要第31集『池上曾根遺跡の研究』である。
2. 本書は近刊予定の『和泉市の歴史』第5巻府中編を補完するものとして、池上曾根遺跡史跡指定45周年を記念して編集した。
4. 本書の執筆は和泉市教育委員会文化遺産活用課 乾 哲也・千葉太朗・上田裕人が分担執筆し、大阪府立弥生文化博物館主任学芸員 塚本浩司氏、泉大津市教育委員会生涯学習課係長 奥野美和氏から寄稿いただいた。表題と目次に執筆者を示した。
5. 本書の編集は文化遺産活用課の乾 哲也が中心となり、市史編さん委員会事務局が行なった。

凡 例

1. 挿図の縮尺は統一せず、各図に縮尺を明示した。
2. 挿図に示した標高は東京湾平均海面(T.P.)からのプラス値である。表記上はT.P.+を省略している。
3. 挿図に用いた「北」は座標北である。